

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

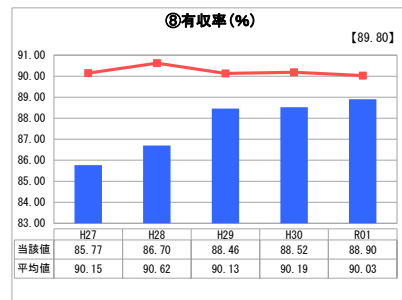
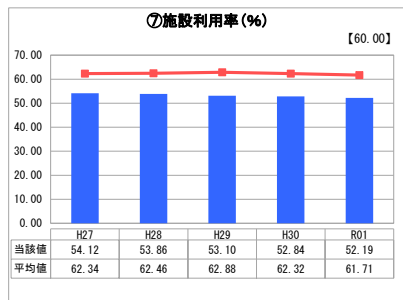
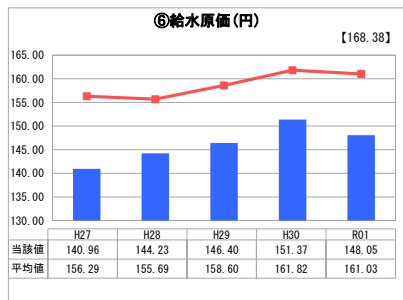
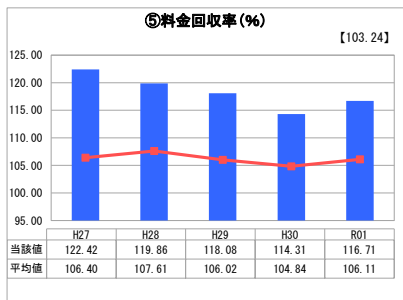
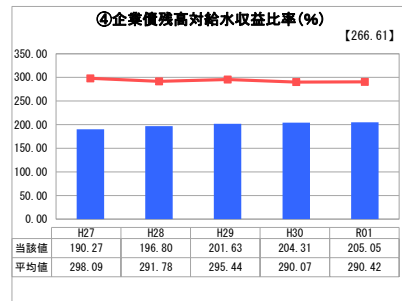
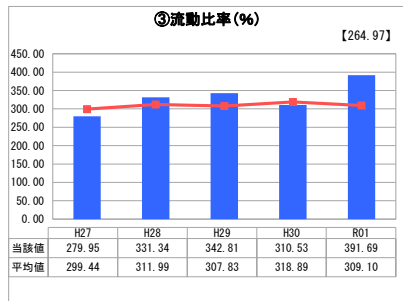
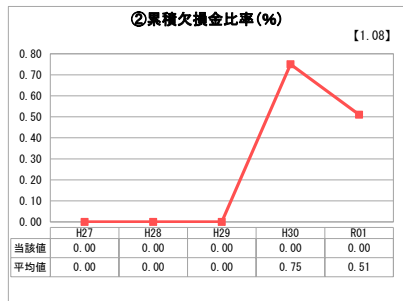
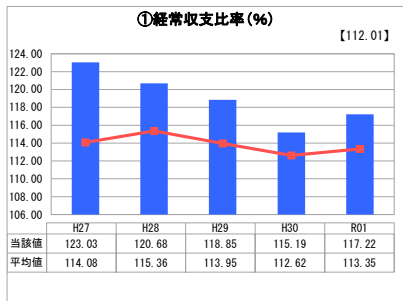
福岡県 久留米市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)	
-	76.06	90.56	2,585	

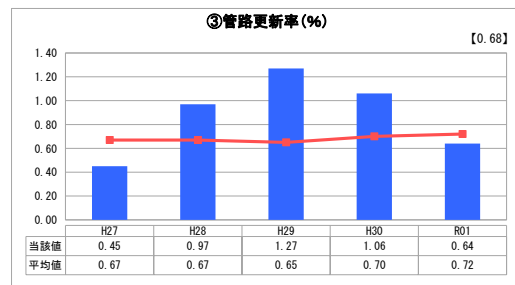
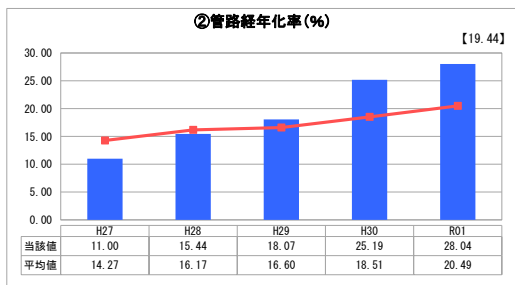
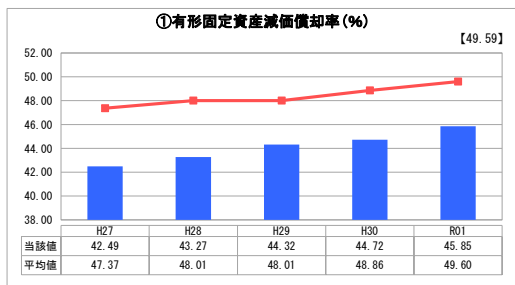
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
305,311	229.96	1,327.67
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
275,953	170.26	1,620.77

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率、③流動比率、④企業債残高対給水収益比率、⑤料金回収率、⑥給水原価率

これらの指標は、類似団体の平均値よりも良好な値又は、同程度の値を示している。経年比較において、前年度より改善した指標もみられ、経営の状況、資金の状況、債務の状況等の面から、健全な経営ができています。

### ⑦施設利用率

類似団体の平均より低いが、災害等に備える危機管理のためや、老朽施設を改修するためには、ある程度の余裕が必要であるため、これらを踏まえて利用率の向上を目指していく必要がある。

### ⑧有収率

水質管理や整備区域の拡大に伴う作業用水量(収入とならない水量)等の増加により、類似団体平均と比較し、低い数値となっている。近年はやや改善しているが、引き続き有収率の向上に努力が必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

#### ①有形固定資産減価償却率

指標は、類似団体の平均に比べると老朽化の度合は低い数値を示している。

#### ②管路経年化率

類似団体の平均値よりも高い状況にあり、本市でも法定耐用年数を経過した水道管が多くなっている。

#### ③管路更新率

本市では漏水事故の多くを占めるビニル製配水管について、積極的に更新に取り組んでいる。漏水状況により、耐用年数経過前の管路について更新を行う場合もあるため、管路更新率が伸び悩んでいる。今後は計画的に管路更新を実施していく必要がある。

## 全体総括

本市の水道事業は、健全性・効率性を示す指標については、健全な状況であるが、老朽化の状況を示す指標について、類似団体と比較し、良好とは言えない状況である。

今後は、人口減少による料金収入の減少が見込まれる一方で、施設の老朽化が進むことにより更新需要が増加していくことから、経営環境はより厳しいものとなっていくと予想される。

将来にわたって安定的な経営を行うためには、中長期的な視点に立った経営計画のもと、経営の健全化と基盤強化に取り組む必要がある。